

2021年度 一般選抜(前期日程) 国語 出題のねらいと解答例

出典

井上雅人 『ファッションの哲学』 ミネルヴァ書房

出題のねらい

本問題は、語句の意味・用法などを理解したうえで使いこなす能力、文章の構成や特徴ある表現を捉える分析力、論理の展開や要点を的確に読みとる理解力、内容全体を総合的にまとめる論理力、論理的な構成を工夫して文章にまとめる構成力を測っている。昨年度までと同様、今年度の問題では長文を読み、それに基づいて語彙や文法などにかかわる基礎知識を問うとともに長文記述の問題を出題した。

解答例

問題Ⅰ(配点20点)

問一

(ア) たいがい (イ) とら (ウ) そで (エ) しよさ (オ) とくめい

問二

(あ) 哺乳 (い) 余暇 (う) 言外 (え) 喪失 (お) 礎
(か) 真似 (き) 輪郭 (く) 試行錯誤 (け) 厄介 (こ) 五線譜

問三

(i) 暫定 (ii) 任意 (iii) 富貴 (iv) 軽蔑 (v) 緩和

問題Ⅱ(配点55点)

問一

1

問二

5

問三

3

問四
5

問五
2

問六
4

問七
4

問八
物に対して、その本来の性質とは異なる意味が与えられることがある。ファッションは、そのような状況でも、物自体を異なる存在として崇拝するのではなく、そうした物の特異な意味までもアイデンティティの一部にして自分を語ろうとする技術だということ。(118字)

問九
集合意識とは、人々の行為や思考の類型が個人の外部に実体化したものである。ファッションは、多様な個人の行為の集積として生じる社会現象でもあり、自由に服を選択しているようで、気づかずに集合意識に同調している関係が、そこに現れているということ。(119字)

問題Ⅲ (配点25点)

評価方法

語句の適切な使用、文章の明快さ、問題文に提示された概念の理解、記述内容の論理性などを総合して評価する。

以上